

統合型クラウド財務管理システム「KEEPER Club」

シスプラが会計事務所業務に革新をもたらす 4つのクラウドサービスを正式リリース!!

キーパー財務シリーズでお馴染みの株式会社シスプラが会計事務所業務に革新をもたらすという4つのクラウドサービスを正式リリースしました。統合型クラウド財務管理システム「KEEPER Club」について同社の代表取締役社長である花澤均氏にお伺いしました。



株式会社シスプラ代表取締役社長 花澤 均

これまでキーパー財務シリーズで数多くの実績をお持ちのシスプラさんが、新たに会計事務所向けのクラウド会計を開発された背景をお聞かせください。

インターネットの普及やAIなどの技術革新が加速的に進化している一方で、会計事務所業界では慢性的な人手不足や採用難、生産性の低下や収益率の悪化などが深刻な問題となっています。これらの問題を解決するためには、現実的で効果的なDXを推進する以外に道はありません。35年以上会計事務所業界にかかわり、会計事務所の業務に精通したシスプラだからできる会計事務所のためのDX推進ツールを次世代のために開発しようと思いました。

会計事務所のためのDX推進ツールとは興味深いです、 どういったツールなのですか？

会計事務所のDX推進というからには、会計事務所の日常業務を具体的にイメージして、何をどうすれば人手不足の解消や生産性向上が実現できるのかを考える必要があります。「KEEPER Club」は様々な実務の現場をイメージし、会計事務所がもっと儲かる仕組みを実現するために、4年の歳月をかけて開発した会計事務所のためのDX推進ツールです。

それでは「KEEPER Club」とは 具体的にどんなサービスなのでしょう？

「KEEPER Club」は4つの独立したコンテンツにより構成されています。1つめは電子帳簿保存法に対応して電子取引データや証憑書類を保存することができる『DeNCHO(でんちょう)』、2つめは販売管理システムや『DeNCHO』に保存された会計関連資料から仕訳を自動作成することができる『KiCHO(きちょう)』、3つめは電子帳簿保存法に準拠した国税関連帳簿や様々な財務分析グラフなどを作成することができる『CHOBO(ちょうぼ)』、そして4つめに財務会計データを変動損益計算に置き換えて予実管理や将来の資金繰り予測をすることができる『YOJITSU(よじつ)』

です。この4つのコンテンツは「KEEPER Club」という共通のプラットフォーム上でシームレスに連携し、電子帳簿保存から財務会計そして予実管理まで一気通貫で処理することができます。

オープンプラットフォームという 事ですが他社のシステムとも連携 できるということでしょうか？

その通りです。「KEEPER Club」は市販されている19メーカーの会計ソフトとデータ連携することができるようになります。各メーカーの会計ソフトで作成された試算表や仕訳データをインポートすることで「KEEPER Club」の全てのコンテンツが利用できますし、『KiCHO』で作成した仕訳データをエクスポートすることもできます。

会計事務所が顧問先に提供 することができるサービスということ ですが、何か会計事務所に対して 特別な対応とか機能があるの でしょうか？

会計事務所向けにはKEEPER Clubの利用ライセンスを100社分まとめた会計事務所スペシャルパック100と10社分まとめた会計事務所スペシャルパック10をご用意しました。この商品を利用すれば顧問先計化も一般価格の30%程度で顧問先に提供できるだけでなく、事務所の職員全員で全ての顧問先データを共有できるクライアントマネージャーという管理ツールが付いているので、複数社管理する会計

事務所にとって大変便利にご利用いただけます。月額利用料方式で、しかも初期費用が掛かりませんので、何のリスクもなくご利用いただけるのではないのでしょうか。

それでは個々のコンテンツに ついてお伺いしたいのですが、 まず『DeNCHO』について お聞かせください。

『DeNCHO』は改正電子帳簿保存法に対応した証憑書類の保管サービスです。電子取引データやスキャナ保存した画像ファイルを電子帳簿保存法の保存要件を付与してクラウド上に保存することができます。『DeNCHO』に保存された画像データのうち、領収書や納品書、請求書など仕訳の基となる証憑書類についてはAI-OCRを経由して『KiCHO』に連動し、仕訳を自動作成することもできます。『KiCHO』に作成された仕訳と『DeNCHO』に保存された証憑書類は紐づけられるので、仕訳帳参照画面からいつでも証憑画像を呼び出すことが可能です。

なるほど、仕訳入力の効率化と 電子帳簿保存の一石二鳥という わけですね。それでは『KiCHO』 についてお聞かせください。

『KiCHO』は仕訳入力を極限まで効率化することを目的とした自動仕訳作成ツールです。まず前期に入力された仕訳を取り込むことで、その会社の仕訳パターンを解析し仕訳辞書を自動作成

します。この仕訳辞書とマッピングすることで様々な取引の仕訳を自動作成していきます。売上は販売管理システムで作成される日報や請求一覧表等のCSVファイルを取り込むことで仕訳を自動作成します。仕入や経費の支払は『DeNCHO』に保存された電子取引データやスキャナ保存された画像ファイルをAI-OCRで解析し仕訳を自動作成します。銀行の取引明細データやクレジットカードの支払明細データからも仕訳を自動作成します。このように可能な限り仕訳入力をせずに仕訳を自動作成するツールが『KiCHO』です。

ありがとうございます。画期的 ですね。次は『CHOBO』について お願いします。

『CHOBO』は『KiCHO』で入力された仕訳を基に約50種類の財務分析資料や決算関連帳簿を作成することができます。比較財務諸表や分析グラフなど最大10年間の帳票がインターネット環境さえあればいつでも参照印刷することが可能です。『DeNCHO』に証憑書類が保存してあれば、10年前の領収書でも仕訳と紐づけられていつでも確認することができるわけです。

10年分の財務分析資料が確認 できるなんて素晴らしいですね。 それでは最後に『YOJITSU』の ご紹介をお願いします。

『YOJITSU』は一言でいえば、既存の財務会計システムを「未来を見る経営羅針盤」に変えることのできる画期的な予算実績管理ツールです。『YOJITSU』は確定した前期の決算データからキャッシュフローを赤字にしない目標予算を自動的に作成し、毎月の実績と比較することで現状分析や対策、資金繰り予測等を行うことができます。『YOJITSU』を活用すれば会計事務所の月次業務の付加価値は飛躍的に向上することは間違いありません。

ありがとうございました。会計システム業界に長くかかわるシスプラさんだから実現できた画期的な製品だということが良く分かりました。今後のご活躍を大いに期待しております。



DX推進! 会計事務所専用のクラウド会計

仕訳入力を極限まで効率化! 負担を大幅軽減

KEEPER Club

一統合型クラウド財務管理システム

特長① KiCHOの
AI-OCR機能で仕訳を自動作成

特長② DeNCHOで
電帳法に対応! 証憑をクラウド保存

特長③ CHOBOの
60種類の財務分析で経営改善

特長④ YOJITSUで
経営状況を予測! 経営を「見える化」

業務効率
アップ!!



【運営】株式会社シスプラ ☎0120-638-377

東京営業本部 〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー
大阪支店 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-8-8 ワークステーション新大阪1203
本社 〒370-0006 群馬県高崎市周屋町3-10-3 周屋町センター第2ビル 6F



統合型クラウド財務管理システム

KEEPER Club

今なら30日間無料お試し中!!
この機会にぜひ体験して下さい。

<https://keeperclub.net/>

動画公開中

